

控訴の趣旨 記載例（代表的なもの）

《 》は注意書きです。

例1 原告が第1審で全部勝訴し、被告が控訴する場合

控訴の趣旨

- 1 原判決を取り消す。
- 2 被控訴人の請求を（いずれも）棄却する。《複数の請求があった場合は（ ）内も記載します。》
- 3 訴訟費用は第1，2審とも被控訴人の負担とする。《以下いずれの例も最後の行にこの記載を入れてください。》

例2 被告が第1審で全部勝訴し、原告が控訴する場合

控訴の趣旨

- 1 原判決を取り消す。
- 2 被控訴人は、控訴人に対し……《控訴人が求める請求内容を記載します。》

例3 原告が第1審で一部勝訴した場合

その1 被告が控訴する場合

- 1 原判決中控訴人敗訴部分を取り消す。
- 2 被控訴人の請求を棄却する。

その2 原告が控訴する場合 次の例では（1）または（2）のどちらかになります。

《例として、原告が100万円の金員を請求して、70万円の支払部分について認容され、残り30万円の支払部分を棄却された事案》

例（1）

- 1 原判決中控訴人敗訴部分を取り消す。
- 2 被控訴人は、控訴人に対し、金30万円を支払え。

例（2）

- 1 原判決を次のとおり変更する。
- 2 被控訴人は、控訴人に対し、金100万円を支払え。

例4 仮執行宣言付支払督促に対する異議事件の判決に対する控訴の場合

その1 原告が控訴する場合

- 1 原判決を取り消す。
- 2 ○○簡易裁判所平成○年（ロ）第○号○○請求事件の仮執行宣言付支払督促を認可する。

その2 被告が控訴する場合

- 1 原判決を取り消す。
- 2 ○○簡易裁判所平成○年（ロ）第○号○○請求事件の仮執行宣言付支払督促はこれを取り消す。
- 3 被控訴人の請求を棄却する。

《※こちらには代表的なものを掲げております。それぞれの事案によって記載内容が異なりますので、これらに該当しない場合等は、訴訟の担当係へお問い合わせください。》